

(中国乙12)
細菌性・アメーバ性赤痢
発生推移
= 2024年2月度 =

発表: 2024年03月18日 国家NDPCA

作成: 2024年03月21日
日中医療衛生情報研究所

細菌性・アメーバ性赤痢

- 患者発生のピーク期は夏場の7～9月
- 年間患者発生数は、2008年から年々減少しており、
2016年9月から2021年1月まで53カ月連続で
月間発症者数の『過去最低記録』を更新した。
その後、2021年5月からまた過去最低記録を更新中
2015年は、138,917人、
2016年は、123,283人、
2017年は、109,368人、
2018年は、91,152人、
2019年は、81,075人、
2020年は、57,820人(コロナの影響?)
2021年は、50,403人、
2022年は、36,346人(速報ベース)、
2023年は、35,733人(速報ベース)だった。

乙12：細菌性・アメーバ性赤痢

